

「志望動機」「学生時代頑張ったこと」「その経験から何を学んだか」「入社後興味のある分野はあるか」「質問ある？」

#### ★自己紹介

- 群馬大学大学院工学研究科情報工学専攻 → ヴルフアーミ
- 2006 年 4 月より、日本の文部省の奨学金制度を受け、国費外国人留学生として来日した
- 修士 2 年生 → 図形パターン照合による自律走行ロボットの自己位置推定
- 主な研究内容→ ロボット目となる部分、人間の目と同じく、周囲の認識やビジョンに関する分野を研究している
- 具体的な研究の開発過程として→ 2年間つくばチャレンジ
- 趣味:サイクリングとバドミントン
- 特技:ネットショッピング仲介サービスを運営すること

★あなたが IBM を志望する理由は何ですか。IBM のビジネス内容に触れ、具体的に記述してください。

- これまで学んできた知識を基に、**高い信頼性と安全性が要求されるシステムの設計・開発に貢献したい**！その価値観と御社の事業内容に一致する → ソフトウェア技術に魅力
- なぜ IBM？特許件数が一番多い、Watson Computer system
- 8 年連続シェア No.1 の企業ポータル WebSphere Portal → トップ企業が導入しているシステム
- エンタープライズ・サービス・バス（E S B）製品の国内トップシェア 33.%（日経コンピュータ第 763 号）
- 自分がやりたいこととマッチした→ **エンタープライズ向けの支援システム、企業経営の変革における「e-business」によるトータル・ソリューションの設計・開発に貢献したい**
- なぜこれをやりたい？

#### 学生時代に力をいれ取り組んだこと

- ・実際に経験したことを具体的に述べる。  
（サークル活動、アルバイト、大学行事等で、チームをこうまとめた、問題点をこう解決した）
- つくばチャレンジ 2011
- ・ナビゲーション開発チーム 3 年間 → プログラミングの実装、実験作業がほぼ毎日夜遅くまで → 実際にロボットのナビゲーションシステムに導入 → うまく走れた
- ・本番前日に起こったトラブル → ロボットが壊れた
- ・挫折 → 皆の 3 年間の努力が水の泡になってしまう
- ・冷静に対応 → 諦めたら終わってしまう（プレッシャ）
- ・役割分担 → 群馬に取り戻せ → 修理が完成
- ・奇跡的な完走・優勝 → 69 チーム内、6 チーム完走
- ・パニックなく、チームが一丸となって目的達成への熱意を維持

することが大事

その他エピソード：

- ちびっ子大学 PM
- TAC Keio SFC Business Plan
- Indonesian instructor 2 years
- English debate champion at UI, Faculty of Engineering
- Jualan nasi uduk jaman SMA

チャレンジ精神が強い

フォーカスじゃなくなる→各タスクの達成度に優先順位を付け、自分がどこまで完成できるかを把握し、実行することで克服していきたいと考えています。

上司への対応？

**御社を志望する理由は**、御社が世界で最も優れた IT 技術者の集団であり、かつそれを維持し続けている点にあります。また、社会において必要とされるサービスを、その高い技術力で実現化し続けている点も魅力の一つです。私はその技術集団の一人として実際の社会を IT の力で支える仕事をしたいです。具体的には、IT スペシャリストとして、御社のエンタープライズ向けの支援システムをはじめ、企業経営の変革における「e-business」によるトータル・ソリューションの設計・開発に貢献したいと思います。このような技術・貢献における高水準の維持には、「世界に価値あるイノベーション」が不可欠だと思いますが、私はそれを先月米国大使館が主催した「起業家セミナー&ビジネスプラン・コンペティション」に参加し、肌で実感しました。ライバルチームのビジネスプランが、アイデアはシンプルでしたがとてもイノベーション性の高いプランであり、結果的に優秀イノベーション賞を受賞したことに強い印象を受けました。御社のイノベーションと信頼度に対する私なりの評価は、自分のこだわりと方向性が重なることを基に志望しました。

★あなたは IBM でどのような IT スペシャリストになりたいと考えますか？ご自身の夢や目標を交えて、具体的に記述してください。

私の夢は御社において、IT スペシャリストとして、特にエンタープライズ向けの経営変革を支援するシステムに特化したサービスの構築と運用に貢献することです。これは、大学の三年生のとき、自分で小規模のネットショッピング仲介サービスを立ち上げ、運営を始めた体験が基礎となっています。サービスの内容をはじめ、トランザクション処理の構成や物流の把握など、大まかにではありますが、実地で学ぶ体験は強烈でした。自分にとって一番重要だったのは、「顧客との長きに渡る関わり」、つまりソリューションの提供にとどまらず、アフターサービスまで含めた運用こそが、業務として非常に大切だということ、強く意識できたことです。また、サービスの運営にあたっては、顧客に対し

て常に新しいサービスを提供し続けなければ注文が来ないという事実が学べたことも、私にとって貴重な体験でした。新たな顧客価値とそれを産み出すイノベーションをリードするという御社の長所に強く共感したのはそのためです。私はこのような初心を大切に IT スペシャリストとして、社会を支える「IBMers」の一員に加わりたいと思っています。

★あなたが様々な人と共に何かに挑戦したことによって経験した困難や挫折について、どのように乗り越え、何を学んだかを教えてください。

私にはチームワークに関しては、忘れられない思い出があります。それは昨年度に出場した、全日本自律移動ロボット大会「つくばチャレンジ2011」です。一番強烈な記憶は、大会直前の一日のことです。それは本走行前の最終段階、ロボットの微調整の際の出来事でした。その時、ロボットを操縦するオペレータと私の二人のミスが重なり、ロボットの速度のコントロールが失われ、ロボットが暴走し、前車輪と駆動モータ部分が壊れてしまいました。このままでは一切の走行ができない状態でした。そうなれば当然、大会への参加も無理となり、完走を目指すという3年越しのみんなの苦心が水の泡になります。私の頭は挫折感で一杯でした。しかし先輩のチーム・リーダーが冷静な判断をし、最終調整をとりやめ急遽大学にとって返し、ロボットを修理することにしました。幸い修理は成功し、ぶっつけ本番ではありましたが本走行に挑戦、奇跡的に完走できました。この経験から、致命的なトラブルに直面しても冷静に考えること、かつチームが一丸となって目標達成への熱意を維持し、いかなる状況においてもベストを尽くすことがいかに大切かということを学びました。

★プログラミング経験の内容、規模、期間、使用言語等を具体的に記述してください。

Java 言語,ORACLE,XML = 中小規模のSNSシステム。期間 = 2 ヶ月;C言語 = 自律移動ロボット用のナビゲーションソフトウェア。期間 = 2 ヶ月;  
C 言語,SQLite = フリーソフトの「フォトアルバム」。期間 = 3 ヶ月

Linux Ubuntu, BackTrack Linux, ORACLE Solaris

GBS : グローバル・ビジネス・サービス GTS : グローバル・テクノロジー・サービス SWG : ソフトウェアグループ

STG : システムズ&テクノロジーグループ; CITA : テクニカル・リーダーシップ: 社員インタビュー

★GBS : グローバル・ビジネス・サービス (GBS の仕事)

「グローバル化」「フラット化」が進み、より複雑さが増す世界の中で、「ビジネス課題を解決するための情報システムの提供」のみならず、「経営戦略に対するイノベーションを発想し、実現するための先進的なテクノロジーとアプリケーションの提供」が求められています。GBS 事業の IT スペシャリストは、お客様の業務(アプリケーション)システムに関わる深い知識とガバナンス・モデルを基に、海外 IBM との協業によるグロ

ーバル・デリバリー体制等を活用しながら、先進的なテクノロジーを用いたアプリケーション・システムの設計/構築/維持管理を提供します。ビジネス課題解決によるお客様の利益最大化を目指すのみならず、中長期的なおお客様の戦略的ビジネスエリアへの実現と、Smarter Planet を具現化するお客様のグローバル・イノベーションの達成を強力に推進します。

GBS 事業で提供するサービス事例

「アプリケーション・システム」とは、お客様のビジネスや業務プロセスをコンピューター・システム上で実現するものです。GBS 事業では、さまざまな業界のお客様のビジネス、そして社会に変革をもたらすアプリケーション・システムの設計/構築/維持管理を提供します。

部門/組織単位へエンタープライズ・レベルでのアプリケーション・インテグレーション(統合)の実現

SOA(サービス指向アーキテクチャ)等に基づくアプリケーション・アーキテクチャの設計

ユーザビリティを追求した Web ポータルの設計・開発

海外 IBM のグローバル・デリバリー体制との協業によるアプリケーション・システム開発

お客様が保有する膨大な情報を分析し、将来予測を行う意思決定支援システムの構築

入社後は IT スペシャリストとして地方銀行や消費者金融、官公庁向けのプロジェクトを歴任。PM(プロジェクト・マネジャー)としての経験も多数。さらに GBS 部門をバックアップする社内スタッフを経験した後、今は現場に戻り、大規模クレジットカードシステム構築プロジェクトに参画中。休日は家族と過ごす時間の他、趣味のサッカーを学生時代の友人や地元の仲間と楽しみリフレッシュしている。

インターネットバンキングのシステム構築に携わり 3 年目で PM に抜擢

IT スペシャリストとして入社以来、企業の業務を支え、またその価値を高める様々なアプリケーション開発に携わってきました。担当するお客様は主に金融業界が中心で、キャリアの前半はインターネットバンキングのプロジェクトを重点的に担当。当時はちょうど銀行の IT 化の波が加速的に進んでいた頃で、各行がインターネットバンキングに力を入れ始めていた時期でした。

私が最初に加わったプロジェクトは、数行から成る地方銀行グループ様のプロジェクトでした。プロジェクトの目的の一つは、インターネットバンキングのシステムをパッケージ化したものをグループ各行に横展開していくことで、効率的な予算とスケジュールで対応していくこと。私はそのグループの中の一行に対するシステム構築に携わりました。最初はメンバーとしてプログラムのテストやプログラミングなどからスタートしたのですが、次第に責任あるチームリーダー役を任されるようになり、IBM や協力会社のメンバーを取りまとめる立場に。

そして、入社 3 年目の秋には、ある案件の PM(プロジェクト・マネジャー)に抜擢されました。

PM はプロジェクトを成功に導くための中心的な役割を果たし、お客様と綿密なコミュニケーションをとりながらプロジェクトの全体像を作り上げます。また、それと合わせてプロジェクトのスケジュールリングや要員管理、コスト管理なども行います。まだ若手だった私にとっては、正直かなりプレッシャーが大きく、期待と不安が入り混じった中で、プロジェクトはスタートしていきました。

#### お客様とチームに助けられながら試行錯誤の日々を経て 一感無量のサービスイン

インターネットバンキングのプロジェクトにおいては、直接的なお客様と間接的なお客様がいらっしゃいます。前者は IBM が直接やり取りをさせていただく銀行の方々、そして後者は銀行のお客様、つまりインターネットバンキングのユーザー様です。インターネットバンキングが万が一ストップしてしまうと、銀行としての信用を失墜してしまうだけでなく、多くのユーザー様が生活をする社会に多大な影響を及ぼしてしまうことにもなりかねません。個人事業主のユーザー様であれば、システムの停止によって資金が不渡りになり、経営を圧迫してしまう危険性まで考えられるのです。それだけに、プロジェクトに課せられた責任は大きいのですが、PM としての経験が足りない私にとっては、プロジェクトを進めていく上で右も左もわからないことばかり。当時は苦労に苦労を重ねました。

それでも前に進むことができたのは、素晴らしいお客様とチームメンバーに囲まれたからに他なりません。お客様側の担当者は非常に懐の広い方で、PM として未熟だった私とプロジェクトを根気強く見守ってくださいました。プロとして、そして自分を信頼してくださるお客様のためにも、このプロジェクトを絶対に成功させてみせるという強い思いに駆られました。また、他の銀行様を担当している先輩達が私のことを 3 年目の若手ではなく、一人の PM として接してくれましたので、その期待に応えようと意欲的にチャレンジしていくこともできました。ある先輩にかけていただいた「まわりのメンバーに迷惑がかかる、と遠慮して聞かないのは、お客様の迷惑になる。お客様のために、自分で調べてもわからないことはどんどん質問しろ」という言葉も忘れられないアドバイスの一つです。お客様第一の視点を貫くことが大切なんだと、今でも教訓として心に刻んでいます。

そして、10 カ月の開発期間を経て計画通りにプロジェクトはサービスインを迎えました。そのときにお客様からかけていただいた「ありがとう」の一言、その感動は今でも鮮明に覚えています。全力投球した日々も、大変だったことも、その感動があるから次もがんばることができる。これからのキャリアで何をやるにしても「お客様のために」活動をする仕事を続けていきたいと考えています。

#### 上に戻る

#### グローバルプロジェクトで大きな刺激を受けるそして次のキャリアステップへ

以後は徐々に規模の大きな案件に参画するようになりましたが、思い出深いのは、入社 6 年目頃に担当した地銀様のシステム開発プロジェクト。このとき一部の開発工程を海外に任せるオフショア開発を行うことになり、フィリピンから 5 人のメンバーが加わりました。私はそのチームのリーダーとなり、一緒に

システムテストを実施したのですが、彼らの有能さには本当に驚かされました。語学に関しても、母国語のタガログ語に加えて英語を流暢に操り、メンバーによつてはスペイン語や中国語も使いこなしていました。そして、さらに日本語も学んでいたのです。彼らの能力の高さやバイタリティを目の前にして、「自分自身このままで本当にいいのか」と自分のキャリアの方向性を考えるようになりました。それ以来、グローバルな人材として飛躍するために必要なスキルは何かという観点で常に考え、その習得と向上に励んでいます。

入社 9 年目には、私は社内スタッフとして第一線のエンジニアたちを後方支援する立場を経験しました。ここでは部門経営に携わるチャンスもあったため、これまでの現場視点に加えて、会社視点での考え方も身に付けました。

現在は、1 年間の社内スタッフ経験の後、プロジェクト現場に戻り、大規模クレジットカードシステム構築プロジェクトに参画しています。このプロジェクトでは半年間の大連赴任もあり、現地でオフショア開発を肌で感じる事ができましたし、日本を海の向こうから見ることもでき、仕事の面でも生活の面でも非常に良い経験となりました。

これからのキャリアについては、せっかくの一度きりの人生なのでいろいろなことにチャレンジしてみたいと思っています。幸い、IBM にはそれを実現できる環境・風土がありますので。ただ、どんな形で働くにせよ、お客様とその先にいる社会の人々の価値を最優先して走り続けられる人間でいたいという

#### SWG:ソフトウェアグループ

#### SWG の仕事

ソフトウェアが企業の競争力のカギを握る時代が到来しました。

世界中の多くの企業が今後の成長戦略を懸命に模索する中、世界の高成長企業はソフトウェアを活用し競争力を強化しています。お客様の課題、例えば、全社経営改革、環境問題への対応、グローバル化促進を IBM のソフトウェアはご支援します。IBM は以前からソフトウェア活用の時代を予見し、企業の成長のための課題が以下 6 つに集約できると考えています。

#### 6 つの課題と最新事例

##### 1. 情報を洞察に変えること:

膨大なデータから知見を得て、より正しい決定をおこなうこと

最新事例:「武蔵野赤十字病院様」

##### 2. 俊敏性を高めること:

戦略を即実践するために、組織や企業の垣根を超えて連携できること

##### 3. コラボレーションを活性化すること:

社員、お客様、パートナー企業がコラボレーションし、一緒に価値を創造していくこと

最新事例:「ベルリッツ インターナショナル インク様」

4. **ソフトウェア開発を変革すること:**

ソフトウェアをより速く、賢く、効率よく開発すること

5. **運用を効率化すること:**

コストを最小化し、継続的な成長と発展を実現すること

最新事例:「ニッセイ情報テクノロジー株式会社様」

6. **リスクを管理すること:**

セキュアなインフラストラクチャーを開発・管理すること

最新事例:「株式会社神戸製鋼所様」

また、これまでの企業や国、地方の枠組みを超えた社会インフラを構築するための [IBM のスマートな取り組み](#) にも IBM ソフトウェアは貢献していきます。

お客様のご成功をご支援するために、自社の研究開発投資に加え、100 社を超える戦略的な M&A を実施することで IBM 自身の事業ポートフォリオを変革してきました。あらゆる領域でお客様が短期的、長期的の両面より厳しい変化に対応できるよう、サービス、ハードウェアと協業し、お客様をご支援することが可能となります。

私が入社後に担当したい分野・業務は金融機関に関連するソリューションです。特に、金融機関への特化したサービスやシステムの設計開発に貢献したいです。

ウェブアプリケーションやプログラミングなどは学生時代からとても興味がありました。実際に、大学3年生のとき、小規模のオンラインショッピング仲介サービスを自力で運用したことがあります。この経験やスキルを活かして入社後には更に発展させたいです。よろしくお願いたします。